## DM-3200 DAW Control

Mackie Control emulation for

Steinberg Cubase SX & Nuendo (2.2 & higher)

# 日本語版

Version 1.10

Ⅰ. 概要	
2. DM-3200 及び Cubase SX の設定	
2.1 DM-3200の設定	3
2.2 Cubase SX の設定	3
3. LCD 画面	5
4. チャンネル機能	5
5. トップパネルキー	6
5.1 トラック チャンネルセンド	6
5.2 EQ コントロール	6
5.2.1 EQ パラメータ	6
6. トランスポート	7
6.1 F1-8 +	7

#### 1. 概要

本マニュアルは DM-3200 コントロール・サーフェースを使用した Cubase SX2.2 以降のバージョン及び Nuendo 2.2 以降のバージョンのコントロールについて述べられています。

Cubase 2.2 以降のバージョンと Nuendo 2.2 以降のバージョンのプロトコルは同じです。本マニュアルは簡易化の為に Cubase SX での操作についてのみ述べます。

Nuendo も同様の設定が可能です。

#### 2. DM-3200 及び Cubase SX の設定

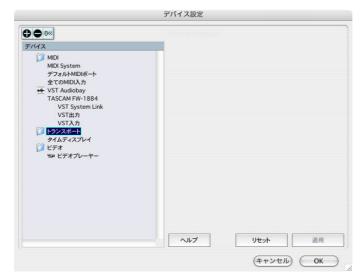
#### 2.1 DM-3200 の設定

DM-3200 の REMOTE > EXT.CTRL 画面にて、サポート・デバイスの中から MC for Steinberg を 2 つ追加します。

同様に REMOTE > MACHINE CTRL 画面にて、サポート・デバイスの中から MC for Steinberg を 1 つ追加します。デバイス登録後、トランスポート機能を有効にする為に TRA 部分のラジオボタンをチェックする必要があります。

#### 2.2 Cubase SX の設定

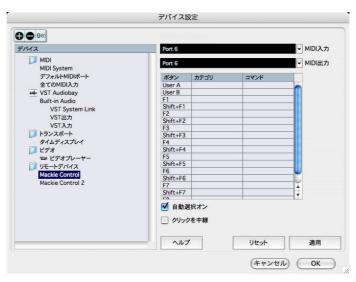
Cubase SX メニューバーのデバイス > デバイスの設定をクリックしてデバイス設定ウィンドウを 開きます。





右上部の+(追加)ボタンをクリックして Mackie Control を2つ追加します。

追加した 2 つの内、 Mackie Control と表示されている方を選択して、MIDI 入力/出力に Port 6 を選択します。



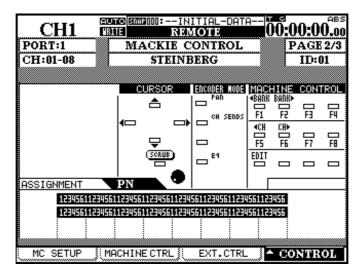
適用ボタンをクリックします(適用ボタンをクリックしないと設定が有効になりません)。 同様に Mackie Control 2 を選択して MIDI 入力/出力に Port **5** を選択します。

!! 注意 !! 正常な動作の為に、Mackie Control 2 の MIDI 入力/出力は Port 5, Mackie Control の MIDI 入力/出力は Port6 に設定して下さい。

以上で設定が完了しました。

#### 3. LCD 画面

下図が Cubase SX 及び Nuendo コントロール用の画面です。



#### 4. チャンネル機能

以下の表はチャンネル機能の概要です。

DM-3200	補助 キー	Steinberg 機能	注記
リングエンコーダー		エンコーダー	パン・ AUX センドなどをコントロールします
リング LED		リングLED	リングエンコーダーを操作する事によって変更されたパラメータ情報のレスポンスがアプリケーションから返ってくる事によってリング LED の点灯を行います
Select +-		Select	トラックの選択を行います セレクトされたトラックは SEL LED が点灯 します
	Rec	Rec ready	トラックをレコードレディ設定をします アクティブ時、RED LED が点灯します
Solo		Solo	トラックのソロオン:オフ設定をします オン時、SOLO LED が点灯します それ以外のトラックはミュートされます
Mute		Mute	トラックのミュートオン・オフ設定をします オン時、MUTE LED が点灯します
トラックフェーダー タッチ		トラックフェーダー タッチ	トラックフェーダーのタッチセンスメッセー ジを送信します
トラックフェーダー		トラックフェーダー	トラックフェーダーをコントロールします
マスターフェーダー タッチ		マスターフェーダー タッチ	マスターフェーダーのタッチセンスメッセー ジを送信します
マスターフェーダー		マスターフェーダー	マスターフェーダーをコントロールします

## 5. トップパネルキー

下記の表は DM-3200 トップパネルキーによるコントロールの概要です。

DM-3200	補助	Steinber	注記
	+-	g	
		機能	
Pan		Pan	リングエンコーダーによってコントロールされる
(ENCODER MODE			パラメータをパンに設定します
セクション)			
Aux		Ch sends	リングエンコーダーによってコントロールされる
(ENCODER MODE			パラメータをチャンネル・センド 1-8 に設定しま
セクション)			ਰ
Flip		Flip	リングエンコーダー操作対象パラメータとフェー
			ダーレベルをフリップします
EQ		EQ	リングエンコーダーによってコントロールされる
			パラメータを 1 トラックの EQ コントロールに設
			定します
データホイール			
	Scrub	Scrub	データホイールの動作モードをスクラブにします
			スクラブモード時に LCD 画面内の SCRUB スイ
			ッチは反転表示になります

## 5.1 トラック チャンネルセンド

選択されている 1 トラックのチャンネルセンド 1-8 のコントロールができます。操作は下記の様にアサインされています。

アイテム	ターゲット	注記
リングエンコーダー 1-8	チャンネルセンド 1-8 レベルコントロール	
リングエンコーダー 9-	チャンネルセンド 1-8 オン/オフ	オン時:Ring LED 全点灯
16		オフ時:Ring LED 全消灯

## 5.2 EQ コントロール

#### 5.2.1 EQ パラメータ

Encoder mode の EQ キーを押すことにより各トラックの EQ コントロールができます。

操作は下記の様にアサインされています。

アイテム	ターゲット	注記
リングエンコーダー 1	Low ゲインコントロール	
リングエンコーダー 2	Low 周波数コントロール	
リングエンコーダー 3	Low Q コントロール	
リングエンコーダー 4	Low バンド オン/オフ	オン時:Ring LED 全点灯
		オフ時:Ring LED 全消灯
リングエンコーダー 5	Low Mid ゲインコントロール	

リングエンコーダー 6	Low Mid 周波数コントロール	
リングエンコーダー 7	Low Mid Q コントロール	
リングエンコーダー 8	Low Mid バンド オン/オフ	オン時:Ring LED 全点灯
		オフ時:Ring LED 全消灯
リングエンコーダー 9	High Mid ゲインコントロール	
リングエンコーダー 10	High Mid 周波数コントロール	
リングエンコーダー 11	High Mid Q コントロール	
リングエンコーダー 12	High Mid バンド オン/オフ	オン時:Ring LED 全点灯
		オフ時:Ring LED 全消灯
リングエンコーダー 13	High ゲインコントロール	
リングエンコーダー 14	High 周波数コントロール	
リングエンコーダー 15	High Q コントロール	
リングエンコーダー 16	High バンド オン/オフ	オン時:Ring LED 全点灯
		オフ時:Ring LED 全消灯

!! 注意!! EQ バンドがオンになっていないものはコントロールできません。

## 6. トランスポート

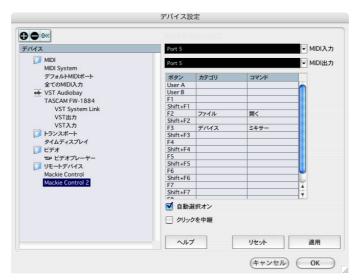
下記の表は DM-3200 トランスポート関連によるコントロールの概要です。

DM-3200	補助 キー	Steinberg 機能	注記
Rewind		Rewind	Rewind 操作を行います
Fast forward		Fast forward	Fast Forward 操作を行います
Stop		Stop	Sop 操作を行います
Play		Play	Play 操作を行います
Record		Record	Record 操作を行います
<bank< td=""><td></td><td>&lt; BANK</td><td>コントロール対象を8トラック左へシフトします</td></bank<>		< BANK	コントロール対象を8トラック左へシフトします
BANK>		BANK>	コントロール対象を8トラック右へシフトします
<locate< td=""><td></td><td><channel< td=""><td>コントロール対象を 1 トラック左へシフトします</td></channel<></td></locate<>		<channel< td=""><td>コントロール対象を 1 トラック左へシフトします</td></channel<>	コントロール対象を 1 トラック左へシフトします
LOCATE>		CHANNEL>	コントロール対象を 1 トラック右へシフトします
F1-8	CTRL	F1-8	F1-8 キーにアサインされている機能のコントロ
			ールをします

#### 6.1 F1-8 +-

CTRL キーを押しながら F1-8 キーを押すことによって F1-8 にアサインされている機能のコントロールができます。

Cubase SX メニューバーのデバイス > デバイスの設定をクリックしてデバイス設定ウィンドウを 開き、Mackie Control 2 を選択して F1-8 キーに機能をアサインします。



!! 注意!! デバイス: Mackie Control と Mackie Control 2 の両方で設定を行って下さい。